

2011年7月14日

報道関係各位

株式会社セブン-イレブン・ジャパン  
あしきた農業協同組合

## セブン-イレブン・ジャパンと JA あしきたが業務提携 西日本初！本格的な移動販売をスタート — 熊本県芦北町、津奈木町、水俣市にて順次 6~7 店舗を出店 —

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>：井阪 隆一、以下セブン-イレブン）とあしきた農業協同組合（熊本県葦北郡、代表理事組合長：高峰 博美、以下 JA あしきた）は、JA あしきたが運営するセブン-イレブン店舗を出店すること、ならびに両社協働の上本格的な移動販売を実施することで業務提携し、2011年7月21日（木）の芦北町での1店舗開店を皮切りに、2012年度中に芦北町、津奈木町、水俣市で6~7店舗を出店してまいります。また、7月21日以降に、お客様のお買物支援としてセブン-イレブンの商品や JA あしきたの商品・サービス等を取扱う本格的な移動販売を開始いたします。

現在、少子高齢化や人口減少の進展、小売店舗の減少等の社会環境の変化を背景に、お住まいになられている地域で日常のお買物をする上で、不便・困難を感じておられる方が増加しています。

今回の取組みは、双方が有する事業インフラおよびノウハウ等を共有・活用し、日々のお買物に不便を感じていらっしゃるお客様のニーズに対応するものであり、両社の果たすべき役割は大きいと認識しております。

なお、セブン-イレブンが西日本で本格的な移動販売を展開するのは初めてであり、また JA がコンビニエンスストアを出店するのは熊本県内初となります。

今後も両社はさまざまな商品供給インフラを最大限に活用し、地域社会と密着した店舗としてサービスの開発を進め、お客様のニーズにお応えしてまいります。

記

### 1. 業務提携の概要

- (1) JA あしきたによるセブン-イレブン店舗の出店
  - ・ JA あしきたが「JA あしきたコンビニ株式会社」を設立
  - ・ 「JA あしきたコンビニ株式会社」とセブン-イレブン・ジャパンが加盟店契約を締結
  - ・ 7月21日より芦北町等でセブン-イレブンを順次出店
- (2) 熊本県における移動販売の本格展開
  - ・ セブン-イレブンが移動販売専用の車両を開発・貸与
  - ・ JA あしきたが既に独自展開している「らいふサポーター制度」（JA あしきたの職員が、農産物のほか各種生活支援サービスを販売・提案する地域巡回サービス）を活用
  - ・ 移動販売による商品やサービスの訪問販売を実施



(イメージ)

## 2.JA あしきたによるセブン-イレブン店舗出店の概要

- (1) 開店スケジュール : 2011年7月21日(木) 芦北インター店  
(予定) 2011年7月31日(日) 水俣ひばりヶ丘店  
2011年8月下旬 芦北田浦店

他、2012年度中に  
芦北町、津奈木町、水俣市にて3~4店出店予定

※ご参考 :

熊本県内のセブン-イレブン店舗数 : 211店舗 [6月末現在] (県内初出店 : 1987年6月)

- (2) 店舗の特徴 : セブン-イレブンの通常の品揃えに加え、  
JA あしきたが取扱う各地区の農産物を販売

## 3.熊本県における移動販売の概要

- (1) 開始日 : 上記各店舗の開店日以降  
(2) 取扱い商品・サービス :

食料品、生活雑貨	生活サービス (JA)	介護用品 (JA)	その他 (JA)
セブン-イレブン店舗 の商品 (食品、生活雑貨等) 約 150 アイテム	シロアリ駆除サービス	介護用品	定期積金お勧め
	太陽光サービス		車検等の紹介
JA あしきたの取扱う 農産物等 約 50 アイテム	墓石、リフォーム		肥料の受発注
	法事の推進・提案		

- (3) 移動販売車 (「セブンあんしんお届け便」) の主な特長 :

- セブン-イレブンが軽トラックをベースに  
移動販売車両として独自に開発
- 常温 (加工食品や雑貨)、20°C (おにぎり等の米飯類)、  
5°C (サンドイッチ等のチルド商品)、  
-20°C (アイスクリーム等) の 4 温度帯の販売が可能
- 環境に配慮した軽トラックで、車両デザインは、  
店頭看板をイメージ



(イメージ)

- (4) 販売先 : 各店舗周辺の公共施設・事務所・住宅等  
(5) 営業時間 (目安) : 10時~17時 [月曜日~土曜日]

以上

セブン-イレブンホームページはこちら <http://www.sej.co.jp/>